研 究 発 表

講演・口演・シンポジウム・示説 ―

演 題	発 表 者	学 会 名	場所	年 月 (西暦)
婦人検診部				
共催シンポジウム 甲状腺癌マネジメントの将来の方向性	(特別発言) 吉田 明	第27回日本内分泌外科 学会	福島	2015.5
シンポジウム 4 甲状腺外科における専門医制度と専門 医教育	(座長) 吉田 明 高見 博	第48回日本甲状腺外科 学会	東京	2015.10
甲状腺結節の診断と治療	吉田 明	第5回福島県県民健康 調査甲状腺超音波技師 講習会	郡山	2015.12
Evaluation of a new automated processing system (TACAS TM Pro) for liquid-based procedure.	Hiroyuki Kuramoto, Naoko Sugimoto, Yoshiko Iwami, Jun Miyagawa, Takashi Sugahara, Midori Banno, Chizuyo Kato, Masuko Hori, Akihiro Kimura, Hiroyuki Okajima, Manichi Iida.	22 nd Thai-Japanese workshop in diagnostic cytopathology.	Phuket, Thailand	2016. 1
子宮体がん細胞と共に―細胞診断の黎 明期を振り返って―「子宮体がんのト ピックス―内膜細胞診を中心に―」	藏本博行	第2回新百合ヶ丘がん セミナー	川崎	2016. 1
循環器病予防	医療部			
アミノ酸と生活習慣病予防. 国際アミノ酸研究会	杤久保修	国際アミノ酸研究会	東京	2015. 6
生活習慣とAIM.	杤久保修	臨床アミノ酸研究会	東京	2015.6
塩分摂取量簡易測定器(減塩モニタ) による習慣的な食塩摂取量評価におけ る食事の日間変動の影響	森川 希、山末耕太郎、杤久保修、水 嶋春朔	第51回日本循環器病予 防学会	大 阪	2015. 6
塩分摂取量簡易測定器(減塩モニタ) による家庭での血圧との併用測定での 通信秘術の効果	山末耕太郎、河野英一、森川 希、杤 久保修、水嶋春朔	第51回日本循環器病予 防学会	大 阪	2015. 6
新たな手法を用いた生活習慣病予防	杤久保修	第28回循環器予防セミ ナー	横浜	2015. 7
血圧と他のバイタルデータ含めた Telemedicineの重要性と今後の課題	山末耕太郎、杤久保修	第38回日本高血圧学会	松山	2015.10
特別講演―寒天食物繊維の健康増進機 能	 	日本食物繊維学会	伊那	2015.12
がん予防医療	部			
オストメイトにおける健康管理と認知 症予防	三浦猛	川崎市オストミー協会 医療講演会	川崎	2015.5
高齢化社会における処方医の役割~問 題点と対応策	三浦猛	全国ファーマシーフェ アー2015	横浜	2015.8
「集団の予防」から「個の予防」へ: 先制医療	三浦猛	横浜市オストミー協会 新春の集い	横浜	2016. 1
臨床検査部				
タンデムマス・スクリーニングにおけ るC5カルニチン高値例の検討	郡山琴絵、菊池信行(横浜市立みなと 赤十字病院)、窪田満(国立成育医療研 究センター)、山上祐次、栗原博 他	第42回日本マススク リーニング学会	東京	2015. 8

			_			1		1
発	表	者	学	会	名	場	所	年 月 (西暦)
博、平原史樹 婦人科)、菊 赤十字病院)、 こマリアンチ医療セマリアン学病形 (東海大学病形 大学医学部)	(横浜市立 也信行(横 安達)、 シター)、 シメナ学病院 に、 、 澤井博 で 、 で で で い り 、 に り 、 に り 、 に り 、 に り 、 に り 、 に 、 に	大学医学部産 浜市立み県 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	第61回生学会		公衆衛	横	浜	2015.10
						横	浜	2015.11
					拉術研	仙	台	2016. 2
見本真一			検診精	度管理評	価機構	仙	台	2015. 5
川上哲弘			検診精	度管理評	価機構	仙	台	2015. 5
見本真一					化管撮	横	浜	2015. 5
村上和也			検診学	会関東甲	信越地	甲	府	2015. 8
見本真一			会東海	北陸支部	ζ	浜	松	2015. 8
川上哲弘					化管撮	横	浜	2015. 9
寺西加倫			第25回 学会	日本乳が	がん検診	茨	城	2015.10
川上哲弘			第11回 会	胃を楽し	く学ぶ	東	京	2016. 2
金岩清雄					検診学	千	葉	2016. 2
高橋直太郎					2器画像	浜	松	2016. 2
鎌田衣珠美					i医学技	仙	台	2016. 2
和田昌訓					i医学技	仙	台	2016. 2
落合彩耶奈					i医学技	仙	台	2016. 2
芦田敏文					業環境	神系	を川	2015. 9
芦田敏文			神奈川	支部第3		神系		2016. 3
	山博婦赤こマ(大() 江英 小信 見 川 見 村 見 川 寺 川 金 高 鎌 和 落 声出、人十どり海学奈 典、 雄() 真 哲 真 和 真 哲 加 哲 清 直 衣 副 耶 文、史、京院家と病部)医 提淳 木市	山上 大	山上祐次、木下洋子、小川雄大、栗原産と 大学 (横浜市立大学立 外別 (横浜市立大学立 外別 (横浜市立大学立 外別 (横浜市立 大市 立 大 中 大 中 大 中 大 中 大 中 大 中 大 中 大 中 大 中 大	山上祐次、木下洋子、小川雄大、栗原 博、科子、 中、	世上 (世子) (世子) (世子) (世子) (世子) (世子) (世子) (世子)	加上枯次、木下洋子、小川雄大、栗原 博、平原史樹 (横浜市立みなと 赤十字病院)、安達昌功 (神奈川県の	山上枯次、木下洋子、小川雄大、栗原 博、平原史樹(横浜市立大学医学部産婦人科)、菊池信存(横浜市立みなと赤十字病院)、安達昌功(神奈川県公衆衛生学会大学医学・部)、澤井博司、王城嘉和(神奈川県医師会) 八丁ンナ医科大学病院)、石川東立大学医学部)、澤井博司、王城嘉和(神奈川県医師会) 八川雄大、木下洋子、山上祐次、菊池 信行(横浜市立みなと赤十字病院) 八川雄大、木下洋子、山上祐次、菊池 信行(横浜市立みなと赤十字病院) 見本真一 第50回予防医学技術研究会議 4回日臨技首都圏支 横 第23回学術集会 1日本 1日本	山上枯次、木下洋子、小川雄大、栗原博、平原史樹(横浜市立大学医学部産婦人科)、菊池信行(横浜市立大学医学部産婦人科)、菊池信行(横浜市立大学医学部産子病院)、安建国内、曾和田川県公東衛生学会 第4 回日臨技首都圏支 大学医学部)、澤井博司、玉城嘉和 (神奈川県医師会) 11 元成典子、提著友美、鈴木千穂、上林 第6 回相 [2 東海大学病院] 2 大学医学部)、澤井博司、玉城嘉和 (2 東海大学原学部)、澤井博司、玉城嘉和 (2 東海大学、近藤淳子、坂牧真盛、山上枯次 第2 四日臨技首都圏支 英子、近藤淳子、坂牧真盛、山上枯次 第2 四日福技首都圏支 第50回子防医学技術研究会議 4 回 台 第23回学術集会

演 題	発 表 者	学 会 名	場所	年 月 (西暦)
看 護 部				
ICT化を導入した当協会における健診 システム	高柳和香、清水智恵、山﨑奈美子、黒 須佳代子、佐藤京子、納所けい子	第50回予防医学中央会 技術研究会議	仙台	2016. 2
健 康 創 造 室				
病的な老化による労働への影響に関する研究 1 職域における加齢男性性腺機能低下症 候群(LOH症候群)	竹田透、竹田悦子(労働衛生コンサルタント事務所オークス)、本園智子、小原甲一郎、蒲浦光正(神奈川県予防医学協会)、江嵜高史(えざきOHコンサルティング合同会社)、長井聡里(すてっぷ産業医事務所)、中本真理(真理労働衛生コンサルタント事務所)、寺井美佐栄(シロノクリニック)、藤野善久、村松圭司、大谷誠(産業医科大学)	第88回日本産業衛生学会	大阪	2015.5
病的な老化による労働への影響に関する研究 2 加齢男性性腺機能低下症候群(LOH 症候群)の仕事への影響	本園智子、小原甲一郎、蒲浦光正(神奈川県予防医学協会)、竹田透、竹田悦子(労働衛生コンサルタント事務所オークス)、江嵜高史(えざきOHコンサルティング合同会社)、長井聡里(すてっぷ産業医事務所)、中本真理(真理労働衛生コンサルタント事務所)、寺井美佐栄(シロノクリニック)、藤野善久、村松圭司、大谷誠(産業医科大学)	第88回日本産業衛生学会	大阪	2015.5
病的な老化による労働への影響に関する研究3 女性の更年期症状の仕事への影響	江嵜高史(えざきOHコンサルティング合同会社)、本園智子、小原甲一郎、蒲浦光正(神奈川県予防医学協会)、竹田透、竹田悦子(労働衛生コンサルタント事務所オークス)、長井聡里(すてっぷ産業医事務所)、中本真理(真理労働衛生コンサルタント事務所)、寺井美佐栄(シロノクリニック)、藤野善久、村松圭司、大谷誠(産業医科大学)	第88回日本産業衛生学会	大阪	2015. 5
産業保健と抗加齢医学 1 LOH症候群がQOWLに及ぼす影響	竹田透、竹田悦子(労働衛生コンサルタント事務所オークス)、本園智子、小原甲一郎、蒲浦光正(神奈川県予防医学協会)、江嵜高史(えざきOHコンサルティング合同会社)、長井聡里(すてっぷ産業医事務所)、中本真理(真理労働衛生コンサルタント事務所)、寺井美佐栄(シロノクリニック)、藤野善久(産業医科大学)	第15回日本抗加齢医学 会	福岡	2015. 5
産業保健と抗加齢医学 2 女性の更年期様症状に対する治療の有 無がQOWLに及ぼす影響	長井聡里(すてっぷ産業医事務所)、 竹田透、竹田悦子(労働衛生コンサル タント事務所オークス)、本園智子、 小原甲一郎、蒲浦光正(神奈川県予防 医学協会)、江嵜高史(えざきOHコン サルティング合同会社)、中本真理(真 理労働衛生コンサルタント事務所)、 寺井美佐栄(シロノクリニック)、藤 野善久(産業医科大学)	第15回日本抗加齢医学 会	福岡	2015. 5
メンタルヘルス活動の取り組み 「ストレスチェック導入に向けて」	高橋美世	予防医学中央会研修会	予防医学 中央会	2015.12

標題	発 表 者	誌 名	年 月 (西暦)
婦 人 検 診 部			
A promising biomarker for triage of low-grade squamous intraepithelial lesions and atypical squamous cells of undetermined significance using p16 ^{INK4a} /Ki-67 immunocytochemistry: a Japanese Gynecologic Oncology Group study.	Fujii T, Saito M, Hasegawa T, Iwata T, Kuramoto H, Kubushiro K, Ohmura M, Ochiai K, Arai H, Sakamoto M, Motoyama T, Aoki D	Int J Clin Oncol, 20(1): 134-142 DOI 10.1007/s10147-014-0688-0	2015
Evaluation of a new automated processing system (TACAS $^{\text{\tiny TM}}$ Pro) for liquid-based procedures.	Kuramoto H, Sugimoto N, Iwami Y, Kato S, Hori M, Iida M	Acta Cytol, DOI: 10.1159/000381055. 59:207-212,	2015
Cytopickで採取された標本を用いた全自動 細胞診塗抹装置TACAS™ Proの使用経験	藏本博行、杉本直子、岩見美子、加藤ち づ代、坂野みどり、堀真須子、菅原隆、 高見眞理子、木村昭裕、飯田萬一	神奈川臨床細胞会誌、20 (1):9-14,	2015
Antitumor activity of a combination of dual PI3K/mTOR inhibitor SAR245409 and selective MEK1/2 inhibitor pimasertib in endometrial carcinomas.	Kanako Inaba, Yuji Ikeda, Kenbun Sone, Aki Miyasaka, Tomoko Kashiyama, Tomohiko Fukuda, Yuriko Uehara, Takahide Arimoto, Hiroyuki Kuramoto, Osamu Wada-Hiraike, Kei Kawana, Tetsu Yano, Yutaka Osuga, Tomoyuki Fujii	Gynecol Oncol, 2015; 138 (2):323–31. DOI: 10.1016/j.ygyno.2015. 05.031.	2015
PI3K/mTOR pathway overcomes radio- resistance via suppression of the HIF1-α/VEGF pathway in endometrial cancer.	Miyasaka A, Oda K, Ikeda Y, Kashiyama T, Fukuda T, Inaba K, Enomoto A, Hosoya N, Koso T, Makii C, Asada K, Tanikawa M, , Sone K, Uehara Y, Kurikawa R, Arimoto T, Kuramoto H, Wada-Hiraike O, Miyagawa K, Yano T, Kawana K, Osuga Y, Fujii T	Gynecol Oncol, 2015 Jul;138(1):174-80. Doi: 10.1016/j.ygyno.2015. 04.015.	2015
The anti-malarial chloroquine suppresses proliferation and overcomes cisplatin resistance of endometrial cancer cells via autophagy inhibition,	Fukuda T, Oda K, Wada-Hiraike O, Sone K, Inaba K, Ikeda Y, Miyasaka A, Kashiyama T, Tanikawa M, Arimoto T, Kuramoto H, Yano T, Kawana K, Osuga Y, Fujii T.	Gyn Oncol, 2015 Jun;137(3):538-45. Doi: 10.1016/j.ygyno.2015. 03.053	2015
甲状腺の手術適応を見極める	杉野公則、岩崎博幸、菅沼信康 (監修) 吉田 明	日本医事新報 第4745号 17-37	2015.5
Clinicopathological Features of Riedel's thyroiditis associated with IgG4-related disease in Japan	Ken Takaeshima, Hidefumi Inaba, Hiroyuki Ariyasu, Akira Yoshida, Ryoukicki Imai, Takashi Akamiizu	Endocrine Jounal 62:725-738	2015
偶発型甲状腺未分化癌	吉田 明	Thyroid cancer explore 2016(2)32-37	2016. 1
循環器病予防图	 E 療 部		
アミノ酸パワー	杤久保修	自由国民社	2015
アミノ酸と生活習慣病―健康長寿社会を目 指して―	杤久保修	アミノ酸研究 9(1)、5-13	2015
Weight loss is associated with plasma free amino acid altertions in subjects wth metabolic syndrome	O Tochikubo, H Nakamura, H Jinzu, H Yoshida, N Kageyama and H miyano	Nutrition & Diabetes	2015

			年 月		
標題	発 表 者	誌名	年 月 (西暦)		
臨床検査部					
学校心臓検診デジタル判読について(第2 報)	大石知佳、神宮友香里、北澤友理、櫻井 諭、竹中志津子、山上祐次	予防医学 第57号 P123-125	2015.12		
新生児マススクリーニングにおけるタンデムマス法事業化後3年6ヵ月の検査について	山上祐次、木下洋子、小川雄大、栗原博、平原史樹(横浜市立大学医学部産婦人科)、菊池信行(横浜市立みなと赤十字病院)、安達昌功(神奈川県立こども医療センター)、曽根田瞬(聖マリアンナ医科大学病院)、石黒寛之(東海大学病院)、田久保憲行(順天堂大学医学部)、澤井博司、玉城嘉和(神奈川県医師会)	予防医学、第57号、 P127-132	2015.12		
新生児におけるアミノ酸・アシルカルニチン濃度と出生体重との関係-低出生体重児における測定値に関する検討-	小川雄大、木下洋子、山上祐次、安達昌 功(神奈川県立こども医療センター)	予防医学、第57号、 P133-140	2015.12		
臨床検査の品質マネージメント構築のため の尿検査システム改善の取り組みについて	江成典子、提箸友美、鈴木千穂、上林英 子、近藤淳子、坂牧真盛、山上祐次	予防医学、第57号、 P147-152	2015.12		
放射線技術部					
当協会の胸部CT検診と診療放射線技師に よる0次チェック	津田雪裕	予防医学 第57号	2015.12		
健 康 創 造 室					
非常勤産業医と非常勤産業看護職との連携 「専門性を発揮するための役割分担と情報 伝達の仕組みづくり」	後藤瑞枝	産業保健と看護	2015. 7		
労働衛生機関のメンタルサポート 一保健師の立場から—	高清水幸美	予防医学 第57号	2015.12		